

ロジスティクス環境会議

第3回リバースロジスティクス調査委員会 議事録

・日 時：2004年4月27日(火) 15:00～17:00

・場 所：東京・港区 芝パークホテル 本館2F 桜

・出席者：33名

・議 案：

- 1) 委員会・分科会・勉強会の運営と進め方について
- 2) 分科会(グループ)の構成について
- 3) その他

・開 会

定刻、菅田委員長により、開会が宣された。

・リバースロジスティクス調査委員会の活動計画について【資料1】

菅田委員長より、資料1に基づき、当委員会の活動計画が第2回本会議にて承認された旨の報告がなされた。

・議事の経過

1. 議 事

開会に先立ち、稲束専務理事より、本会合をもって分科会構成を確定していただきたい旨の挨拶が行なわれた後、菅田委員長の司会進行のもと、以下のような議事が行われた。

1) 分科会(グループ)の構成と委員会・分科会・勉強会の運営と進め方について

【資料2、3、4】

菅田委員長より、資料2に基づき、アンケート結果の報告がなされた。引続き、資料3、4に基づき、分科会構成と委員会等の運営と進め方について説明がなされた後、以下のような意見交換がなされた。

【意見交換の主な内容】

【委 員】分科会を構成するにあたっては、実務として携わっている方がメンバーに加わっていないと調査等を行い、まとめるのは難しいのではないかと。

【委 員】家電グループとOA機器グループは統合しても良いのではないかと。

【委 員】自動車グループと建設グループは希望人数が少ない。特に建設は直接的に実務に関わっているメンバーが少ないため、分科会としての設置を再度検討した方が良いのではないかと。

【事務局】運営面から考えても、分科会は多くても4グループには絞った方が良いのではないかと。

【委 員】各分科会では、荷主企業と物流企業が一緒に検討するようになっているが、荷主企業と物流企業では検討する視点が異なるのではないかと。

- 【委員長】環境会議では、荷主企業と物流企業が共に考えることが大きなポイントである。
社会システム、ビジネスモデルとして成り立つ仕組みを荷主企業と物流企業で是非
考えて欲しい。
- 【委員】荷主企業と物流企業が同じテーブルで議論する場合、コスト面だけでは単純な運賃
問題になるケースが多いため、この会合では「効率性」という視点を中心に検討を
行なうべきではないか。
- 【委員】提言は委員会別に行なっていくのか。
- 【事務局】提言については、委員長ミーティング、企画運営委員会で各委員会の提言を確認し、
調整させていただく。

以上のような意見交換が行われた後、菅田委員長より、以下のような確認がなされ、全会一致
にて承認がなされた。

- (1)分科会は以下のとおり4つの分科会を構成する。
家電・OA機器グループ
自動車グループ
食品グループ
物流グループ
- (2)分科会・勉強会・見学会の運営と進め方については、資料3のとおり行なう。
分科会のスタートは次回6月とする。
- (3)次回委員会までに、各分科会で検討すべき項目等をご検討いただく。

2) その他

- (1)今後のスケジュールについて
第4回委員会および第1回分科会は、次のとおり開催することが確認された。
日時：2004年6月3日(木) 14:00～17:30
会場：未定

2. 閉会

以上をもって全ての議事を終了し、菅田委員長は閉会を宣した。

以上